

「農業及び農村の状況並びに農業及び農村の振興に関する施策の実施状況」の報告について

1

- 長野市農業振興条例第10条に基づく、農業及び農村の振興に関する計画（「**長野市農業振興アクションプラン**」）
- 同条例第11条に基づき、施策の実施状況等を毎年9月市議会に報告
議会には「**長野市農業振興アクションプラン**」も含め、「**長野市の農林業**」にまとめて提出する
- 報告及び公表のスケジュール
 - 令和4年8月17日 部長会議 終了後、議長に提出
 - 令和4年8月23日 政策説明会 終了後、市HPで公表
 - 令和4年9月1日 市議会定例会 初日に諸般の報告を行う

長野市農業振興アクションプラン

○計画期間：平成29年度～令和3年度の5年間

○本市農業の将来像：三実一体で実現する力強い長野市農業

○長野市農業振興アクションプランの体系

重点施策	大項目	中項目	小項目
施策1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の促進	① 農業の多様な担い手の確保と育成	ア 中心的な担い手となる農業者の育成 イ 新たな担い手の確保 ウ 農業者を支える団体の活動支援	41の具体的な取組み
	② 農地の有効利用と農業生産基盤の整備	ア 優良農地の確保と農地の有効利用 イ 農業生産基盤の整備と維持管理	
施策2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進	③ 地域の特性を活かした生産振興	ア 主要農畜産物の生産振興 イ 中山間地域の生産振興 ウ 安全・安心な農産物づくり エ 災害対策・野生鳥獣対策	
	④ 農産物の販売力強化と他産業との連携	ア 販路の拡大 イ 付加価値の向上	
	⑤ 農業・農村に対する理解の促進	ア 地産地消・食文化の伝承 イ 都市と農村の交流	
	⑥ 令和元年東日本台風災害からの復旧復興 ※R2追加		

➤ 将来像の実現に向け、2つの重点施策のもとに、41の小項目を実施

➤ 4つの指標を設定し、進捗度合を管理

長野市農業振興アクションプラン 令和3年度の主な実施状況

○長野市の農業生産額(推計)

品目	令和2年産		令和3年産		生産額増減
	生産額	構成比	生産額	構成比	
米	18.3億円	9.5%	18.0億円	9.3%	△0.3億円
麦類・雑穀・豆類	1.3億円	0.7%	0.9億円	0.5%	△0.4億円
野菜(いも類含む)	20.3億円	10.5%	19.8億円	10.2%	△0.5億円
果樹	89.6億円	46.5%	84.4億円	43.6%	△5.2億円
畜産	2.6億円	1.3%	2.8億円	1.5%	0.2億円
花き	3.0億円	1.6%	2.8億円	1.5%	△0.2億円
栽培きのこ	57.2億円	29.7%	64.5億円	33.3%	7.3億円
その他	0.3億円	0.2%	0.3億円	0.1%	0億円
合計	192.6億円	100.0%	193.5億円	100.0%	0.9億円

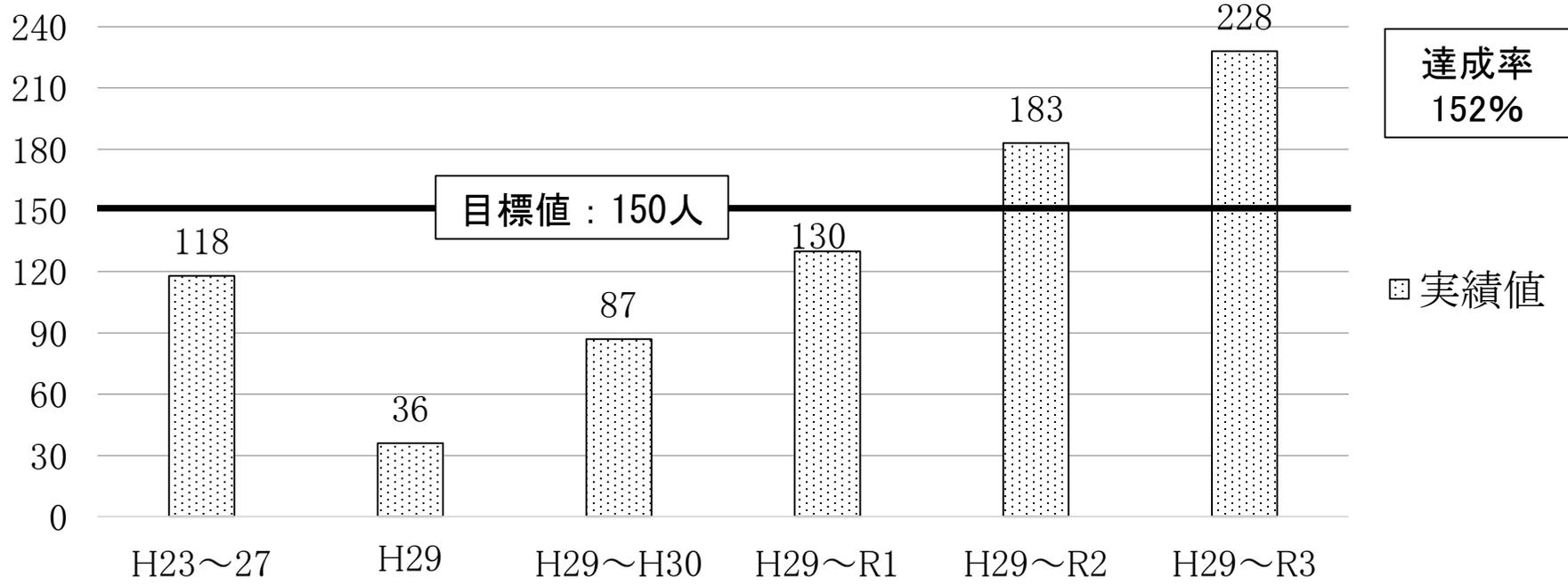
[生産額の算出式]
栽培面積×単収×単価

○指標

指標	内容	現状値	令和2年度	令和3年度
①新規就農者数(人)	給付金等受給者又は農家創設数の累計 (現状値は給付金等受給者数のみ)	118 (H23~H27)	183 (H29~R2)	228 (H29~R3)
②農地の利用権設定面積 (ha)	長野県農地情報管理センター登録面積 農業委員会事務局農地情報公開システム登録面積	H27: 667.3 H28: 660.6	— 785.8	— 835.4
③果樹の新品種・新技術 導入による栽培面積 (ha)	りんご新わい化、ぶどう新品種の栽培 面積推計値	H27: 68.3	120.5	153.6
④果樹農業生産額 (億円)	りんご、もも、ぶどう等の果樹生産額 の推計値	H28: 92.7	89.6	84.4

長野市農業振興アクションプラン「4指標」の状況

1 新規就農者数(人) ※積み上げグラフ



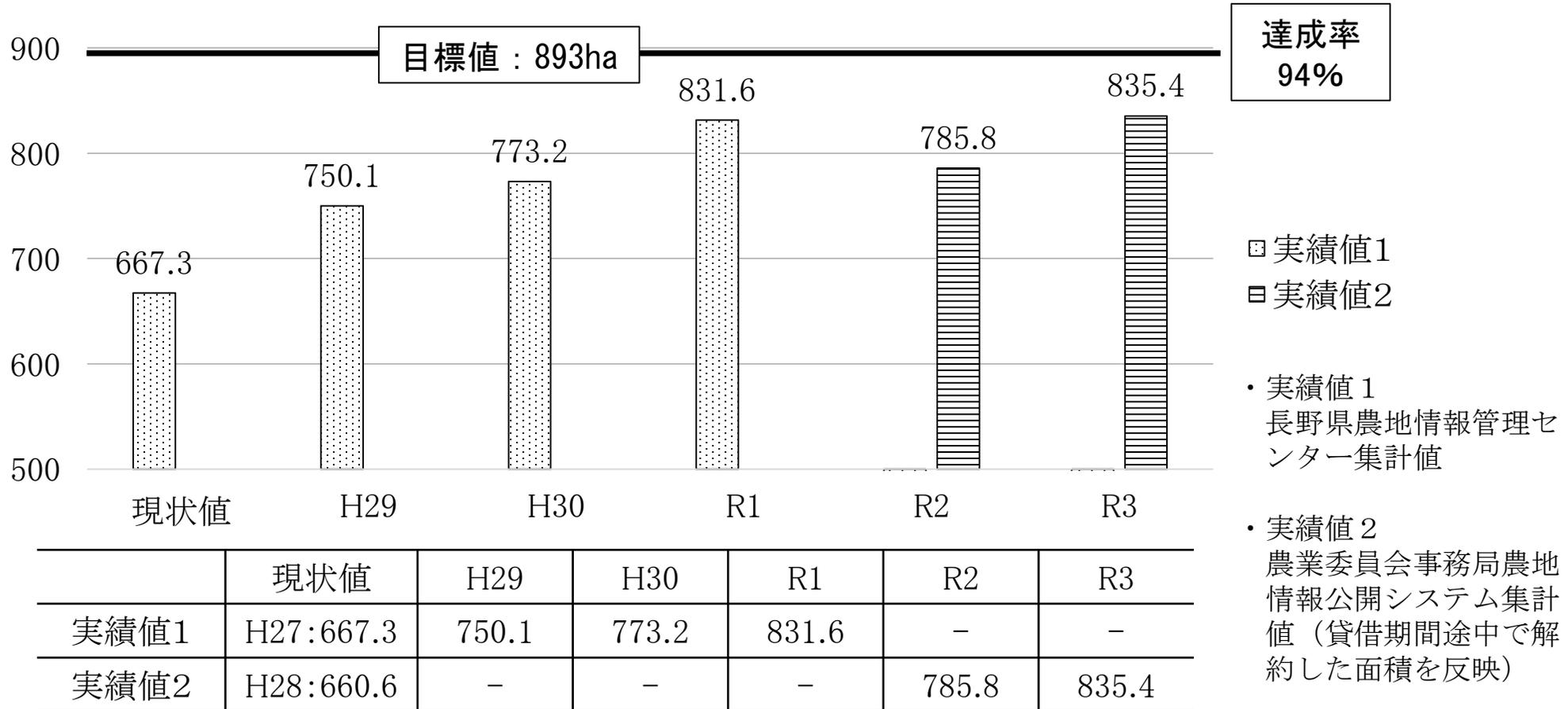
	H23~27	H29	H29~30	H29~R1	H29~R2	H29~R3
実績値	118	36	87	130	183	228

○新規就農者は228名増（年平均約46名増）で目標達成

【要因】

- オンラインを含む就農相談会等の実施
- 農業次世代人材投資事業（国）や認定農業者の子(孫)への親元就農支援 など

2 農地の利用権設定面積 (ha)



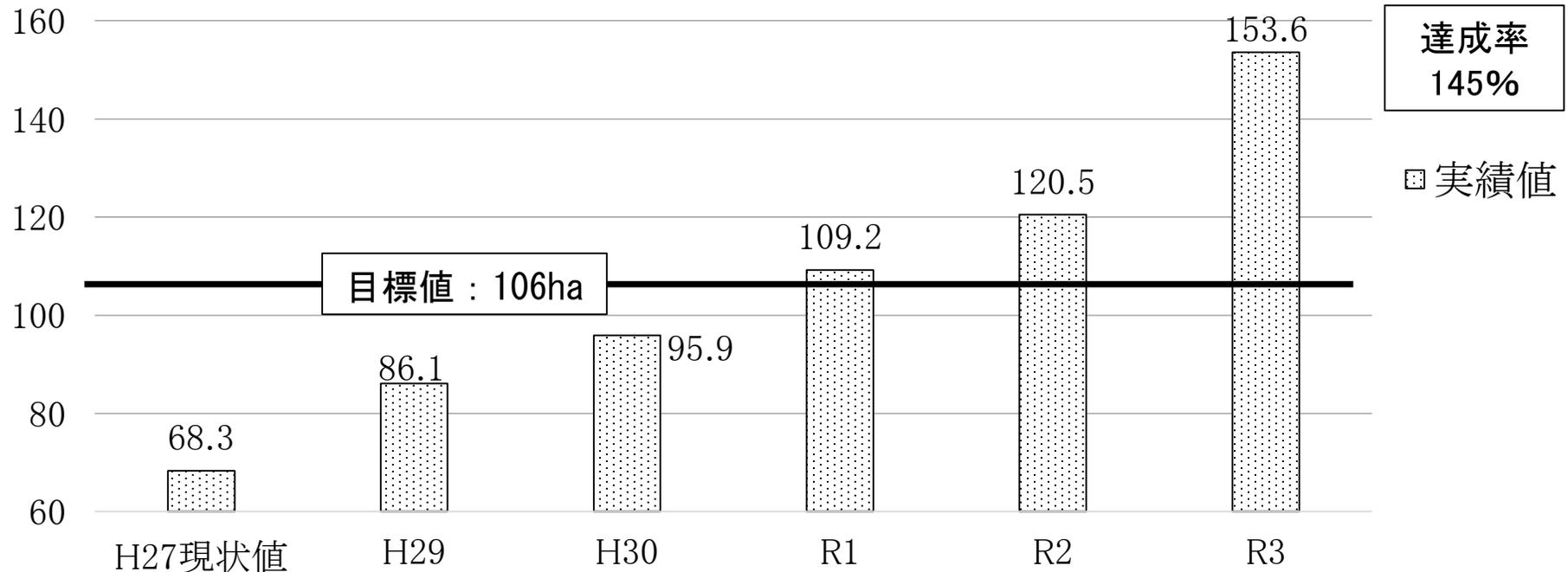
○現状値(実績値2)から174.8ha増えた(年平均約35ha増)が目標は未達成

【要因】

➤小規模農地が多いこと、農業者の高齢化や後継者不足 など

※農地中間管理事業の統合一体化に伴い、令和3年3月31日「長野県農地情報管理センター」が解散

3 果樹の新品種・新技術による栽培面積(ha)



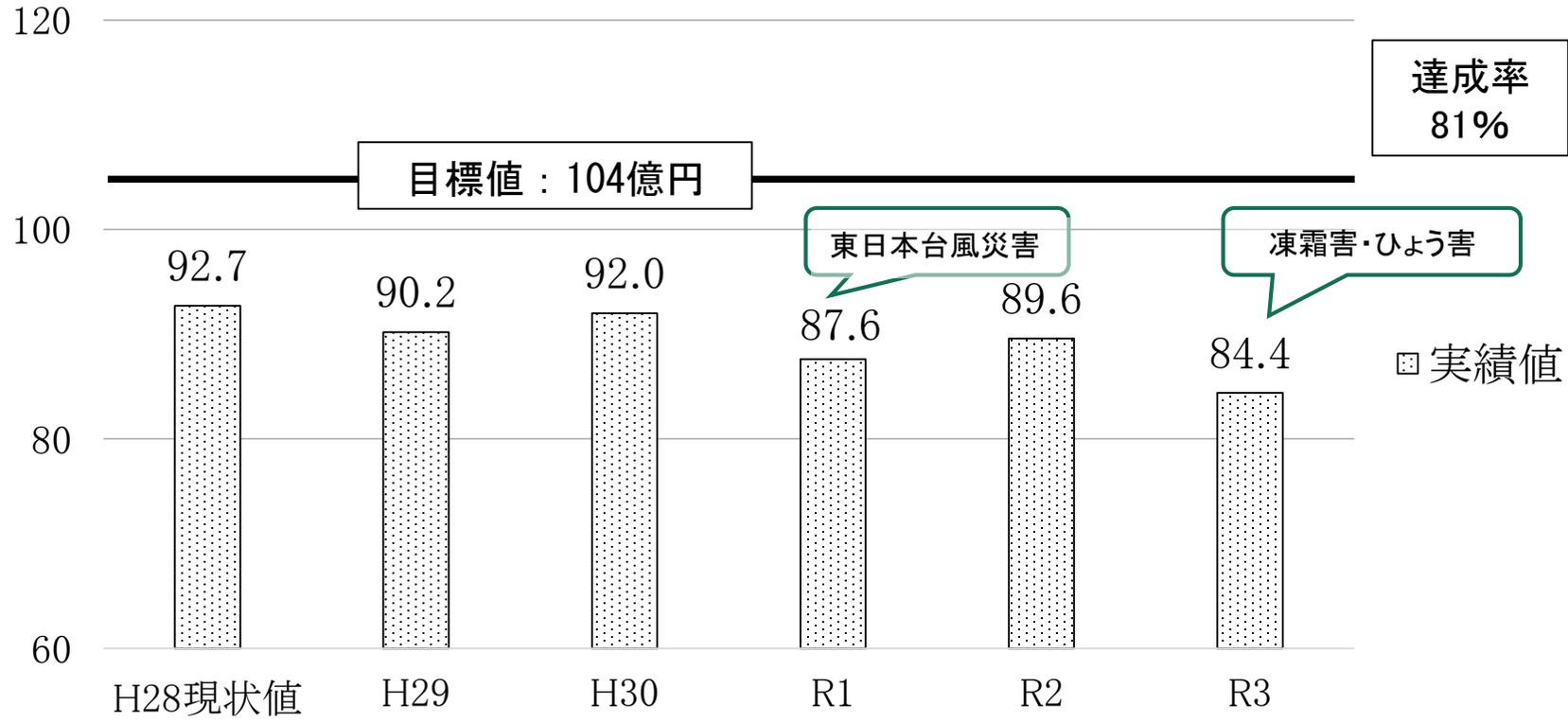
	H27現状値	H29	H30	R1	R2	R3
実績値	68.3	86.1	95.9	109.2	120.5	153.6

○現状値から栽培面積は85.3ha増（年平均約17ha増）で目標達成

【要因】

- りんご新わい化栽培推進事業、ぶどう新品種推進事業の実施
- J Aとの連携や農業者の意識向上 など

4 果樹農業生産額(億円)



	H28現状値	H29	H30	R1	R2	R3
実績値	92.7	90.2	92.0	87.6	89.6	84.4

○現状値と令和3年度の比較で8.3億円減で目標は未達成

【要因】

➤自然災害(台風・凍霜害・ひょう害)による被害発生及び樹園地の減少 など

○ 順調・概ね順調に実施できた主な項目

- ・ 新規就農者数の増加
- ・ 果樹新品種・新技術の栽培面積拡大
- ・ 農地の流動化対策などによる農地集積
- ・ 農業生産基盤（農道、用排水路など）整備、農業用排水機場の改修
- ・ 野生鳥獣被害防除対策

○ 令和元年東日本台風災害への対応

- ・ 農地・農道の災害復旧事業、農業用機械・施設の修繕、再取得支援
- ・ 被災農地の貸借マッチング
- ・ 被災地区農地復旧支援、農地流動化助成金の被災農地加算

○ プラン実施中の新規・拡大事業

- ・ スマート農業、農福連携、有機JAS、農業経営収入保険加入促進補助

△ 課題があった主な項目

- ・ 度重なる災害の影響を受けた果樹生産額の減少

△ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた主な項目

- ・ 地産地消の推進（地元生産者と実需者との対面によるマッチングの機会の見送り）
- ・ 小中学生農家民泊誘致（地元受入組織の活動見合わせ）